

平成 20 年度事務事業評価表(団体運営費補助用)

①事務事業名		事業コード 100210		埼玉県LPG協会所沢支部災害防止活動補助金		担当部課	部課コード	100200	TEL	2929-9121
補助開始年度		昭和 60 年度		→		終了予定年度		平成 年度		
						消防本部	予防課			
						グループ	危険物			

②事業の内容	根拠法令	なし												
	分野別計画・指針	なし												
	関連・類似事業	なし												
	総合計画の体系	政策	第6章 みんなが安心して暮らせるゆとりあるまち			施策	1節 消防・救急		中柱	2 火災の予防		小柱	(4) 危険物等安全指導の充実	
	行政改革大綱における行動計画への位置づけ													
補助開始の背景		市民の安全確保を目的にLPガス事故の災害予防及び災害時の緊急処置活動を行っている埼玉県LPG協会所沢支部を支援するために補助を開始した。												
補助の目的		爆発危険のあるLPガスボンベの除去及びガスの噴出防止等の緊急処置活動を始めとして、LPガス事故の予防対策を推進し、市民の安全確保と社会公共の福祉の増進に寄与することを目的としている。									団体への加盟数			
団体における実施事業の概要		1 緊急災害対策として、地震等災害時におけるLPガスの供給協力体制の確立と整備を継続的に行う。 2 LPガスを消費している事業所や住宅で火災等が発生した場合には、消防本部指令課から埼玉県LPG協会所沢支部に連絡する。連絡を受けた協会員は現場に出勤し緊急処置活動を行う									51	社		

③経費	《会計種別》	一般会計	平成 18 年度 (千円)	平成 19 年度 (千円)	平成 20 年度 (千円)	
	補助金支出額当初予算		81	81	65	
	補助額決算 (見込み含む)		81	81		
	臨時職員賃金		人	人		
	正規職員人件費		0.09 人	828	0.14 人	1,315
	事業費合計		909	1,396		
	市民一人当たり(単位:円)		2.7	4.1		

④指標	項目名	計算方法	単位	H 18	H 19	H20見込み	将来目標	
	団体活動実績	緊急出動回数	火災・ガス漏れ等の災害現場へ出動した回数	回	31	25		
	成果分析	緊急出動回数	火災・ガス漏れ等の災害現場へ出動した回数	回	目標値 25	実績 31	25	22
			%	達成率	80.6	100.0	実績値の拡大を図る1 実績値の縮小を図る2	2

⑤一次評価	補助金の有効性	評価項目	総合計画への貢献度	<input type="checkbox"/> 貢献度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度貢献している	<input type="checkbox"/> 貢献度は低い	
		成果分析に基づく目的の達成度	<input type="checkbox"/> 達成度は高い	<input checked="" type="checkbox"/> ある程度達成している	<input type="checkbox"/> 達成度は低い		
		団体活動の自主性	<input checked="" type="checkbox"/> 自主性は高い	<input type="checkbox"/> ある程度自主的である	<input type="checkbox"/> 自主性は低い		
		事業費に占める補助金の割合	<input type="checkbox"/> 81%以上	<input type="checkbox"/> 61%~80%	<input type="checkbox"/> 41%~60%	<input type="checkbox"/> 21%~40%	<input checked="" type="checkbox"/> 20%以下
		活動内容及び会計処理の適切さ	<input checked="" type="checkbox"/> 適切である	<input type="checkbox"/> 改善余地がある	<input type="checkbox"/> 改善の余地が大きい		
		今後の必要性	<input type="checkbox"/> 増大する	<input type="checkbox"/> 減少する	<input checked="" type="checkbox"/> 変わらない		
目標設定	H20	目標項目	LPガス事故等の災害予防の推進に当たることにより、火災・ガス漏れ等の災害の減少による出動回数の減少を図り、市民の安全を確保する。	達成水準	前年の「火災・ガス漏れ等の災害現場へ出動した回数」の数値に対して10%以上の減少を目指す。	時期	年内
H21予算の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 現状通り	<input type="checkbox"/> 増額	<input type="checkbox"/> 減額	<input type="checkbox"/> 統合	<input type="checkbox"/> 終了		
上記評価理由(補助金の有効性及び予算の方向性)	LPガス事故の災害予防や災害時の緊急処置活動を行っているLPG協会の活動は、市民の安全確保と社会公共の福祉の増進に寄与していることから、補助金の有効性が認められる事業である。また、市民の安全確保には行政と当協会との協力関係は必要であることから予算の方向性を現状通りとする。						
評価日	平成20年5月7日		記入者職氏名	予防課長 木下 雅孝			

⑥二次評価	次年度用評価	部内優先順位...	位	非常に高い	高い	やや低い	低い	優先度	<input type="checkbox"/> A:優先的に資源配分をするべきと評価する事務事業
	見込まれる貢献度	総合計画上位目標							<input type="checkbox"/> B:重要であり引き続き実施すべきと評価する事務事業
	評価理由	市長マニフェスト							<input type="checkbox"/> C:現状での実施は見送るべきと評価する事務事業
	評価日								

⑦個別計画の方向性	◎環境基本計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し		計画コード	
	施策の体系	施策の方向			
	◎次世代育成支援行動計画	本事業の左記計画における位置づけ... 無し		計画コード	
	基本目標				
主要課題					
施策の方向					